

政府目標を  
達成するには・・  
(道北のみで30万kW)

【風車設置数の仮定】

道北W 98⇒198

道北C 9⇒79

道北E 73⇒203

⇒可能なのか？

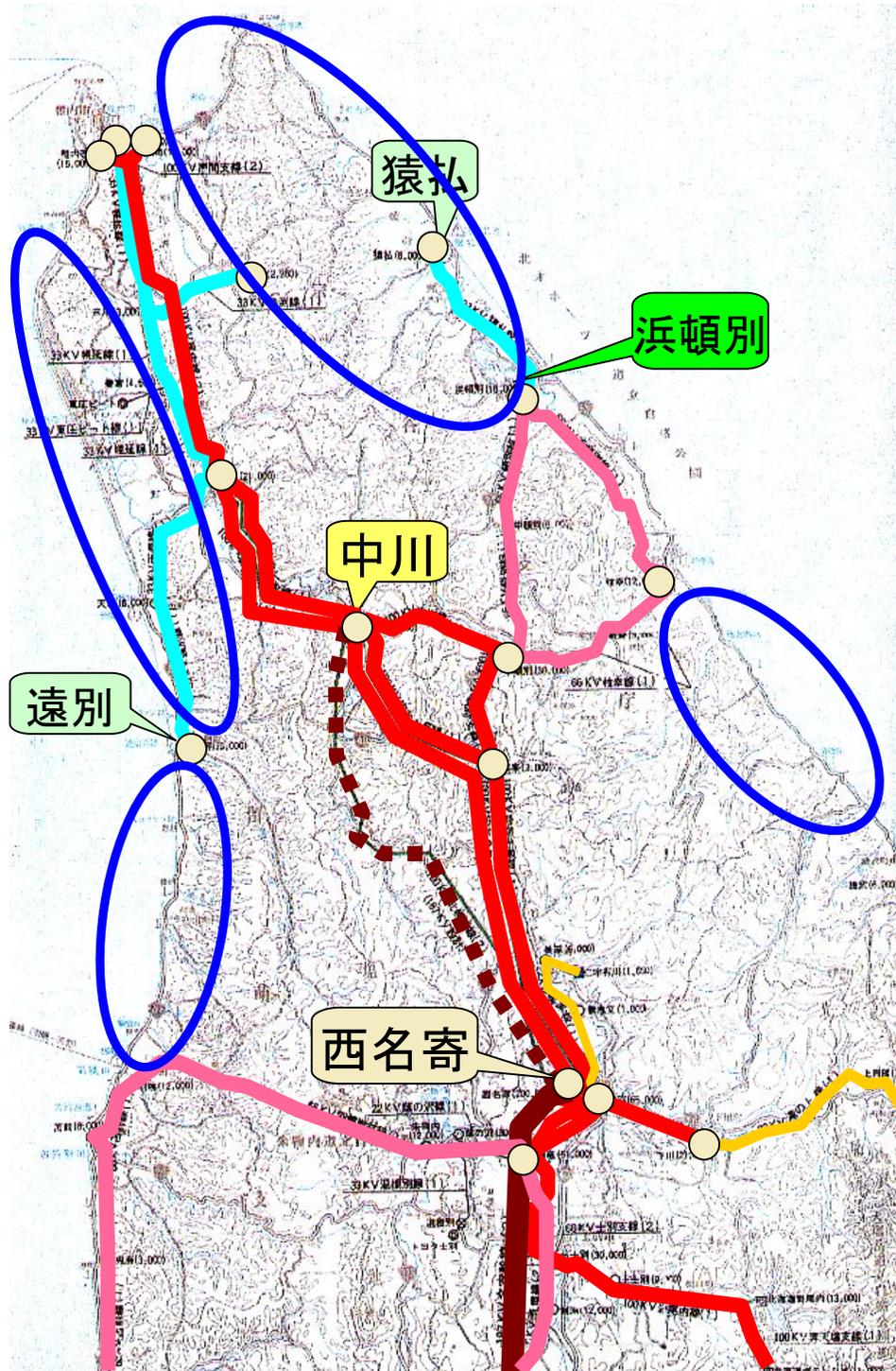
◇道北における風車の導入(案)

	現在		03抽選		05年度末	2010年		合計
	出力	基数	出力	基数	(予定)	増設目標	基数	総出力
道北W(西側)	87,920	96	780	2	88,700	100,000	100	188,700
道北C(中央)	14,850	9	0		14,850	70,000	70	84,850
道北E(東側)	12,365	15	58,000	58	70,365	130,000	130	200,365
	115,135	120	58,780	60	173,915	300,000	300	473,915

※自治体枠は決定分のみ

※増設する風車出力は全て1000kWとする

◆送電網の現状と  
比較的好風況と考えられる地域



強風地帯⇒人が少ない  
⇒送電線が無い

◆送電線電圧

187kV



100kV



66kV



33kV



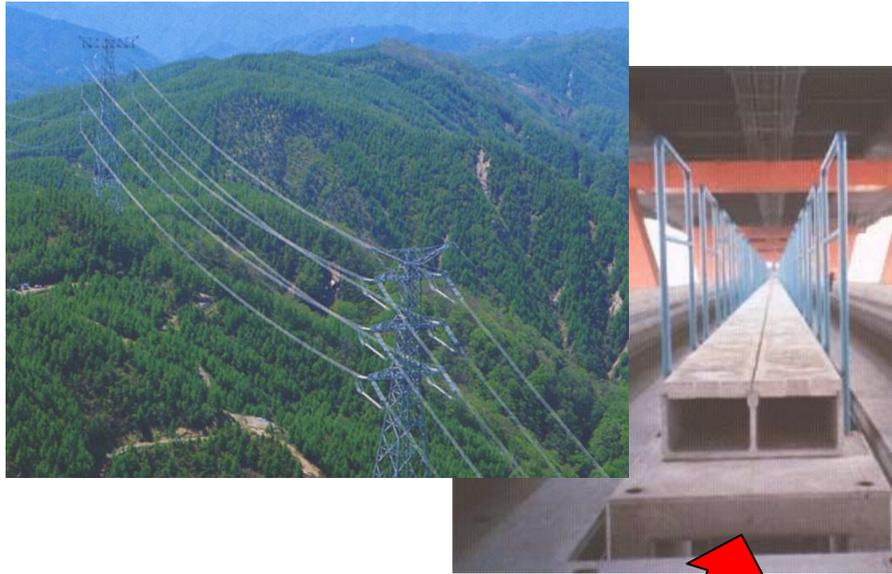
22kV



既存変電所 ○



# 送電線をどう引くか？



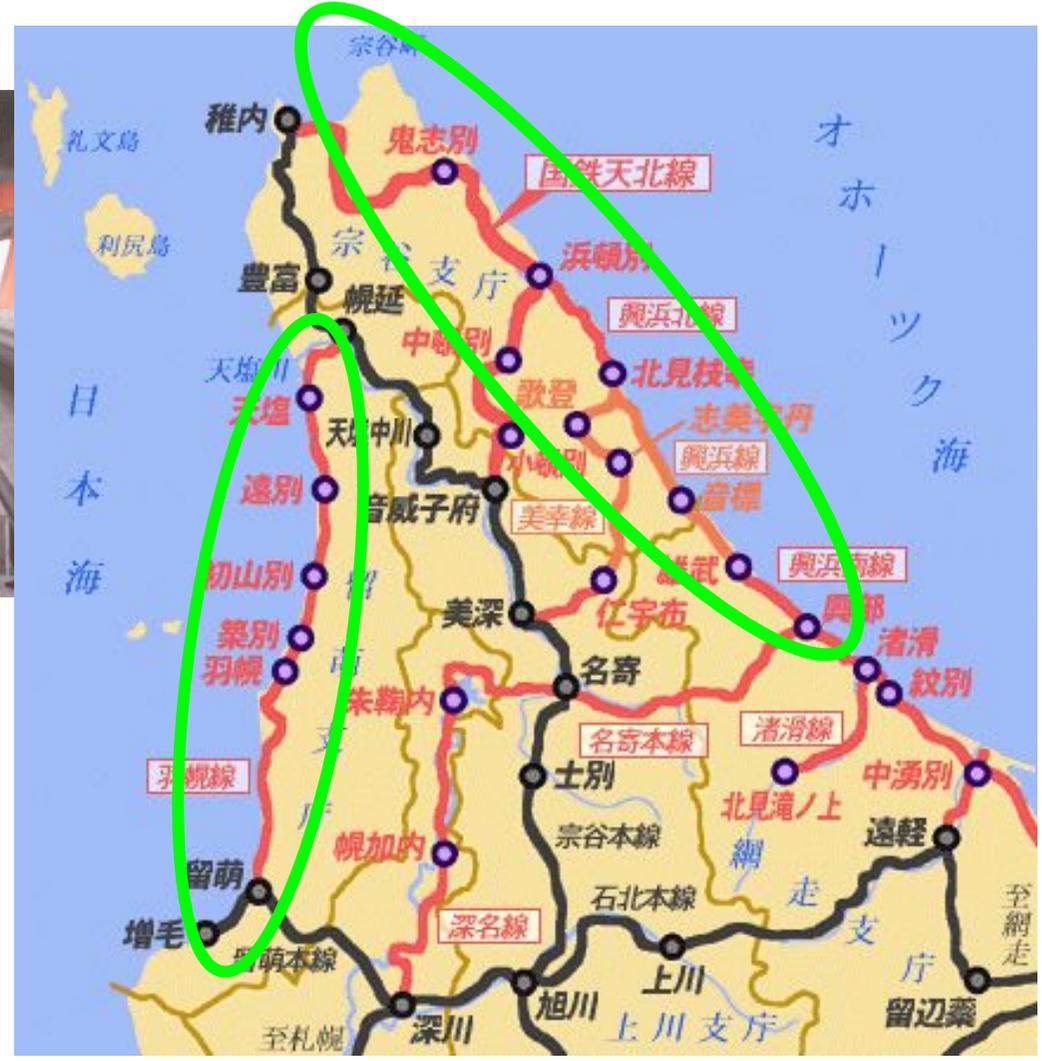
## ◆従来型送電線

- ・景観
- ・自然破壊
- ・用地取得困難

## ◆従来型地下埋設

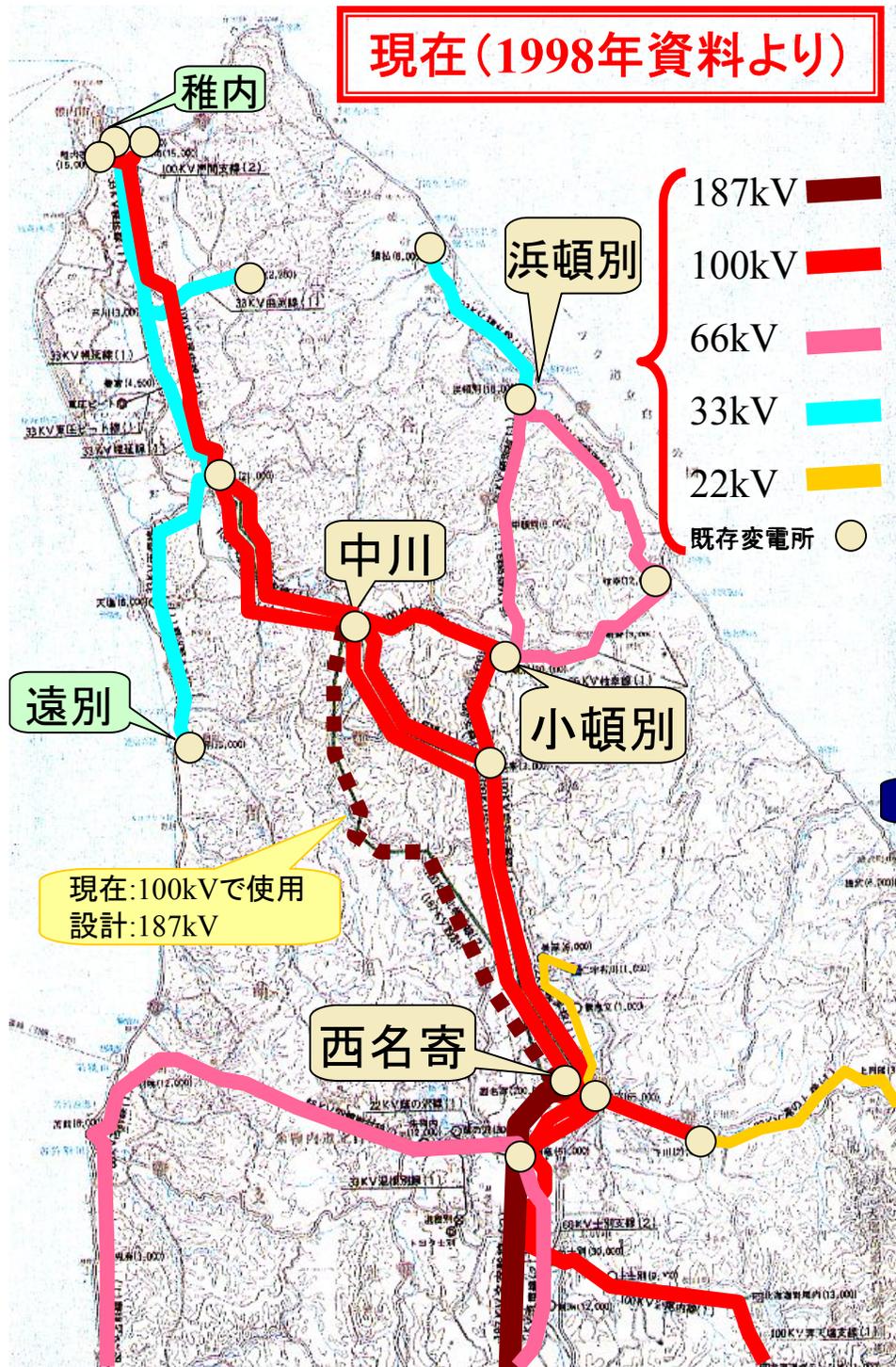
⇒2010年まで時間が無い!!

## ◆簡易的な地下埋設で安価なケーブルとは？



【国鉄軌道跡地】一般に官地

現在(1998年資料より)



2010年(案)



# 【北海道北部系統強化費試算結果】 2010/6/30

	①01年エネ庁	②03.6HGF (架空)	③03.6HGF (海底ケーブル)	④案4 (架空+地下埋)	⑤案5 (架空+地下埋)
送電線距離	—	340km	340km	665km	340kmに換算
系統アクセス費用	44	30	30	100	51
既存系統強化費用	152	170	161	282	144
用地取得費	920	46	10	20	10
安定化対策費用					
調整電源	175	175	175	175	175
電圧調整(SVC)	14	14	14	14	14
主な違い	架空・民地	架空・官地	地下埋・官地	地下埋・架空 混合・官地	参考まで
系統強化総費用(億円)	1,304	435	390	590	394
┌ 工事費	384	389	380	571	384
└ 用地取得費	920	46	10	20	10
注釈1) 増強規模	30万kW に換算	30万kW	30万kW	30万kW	—
注釈2) 300万kW換算	1.3兆円	—	—	—	—

※詳細は別紙資料参照

※ ①の結果は資源エネルギー庁試算結果に用地取得費を組み込んだもの

※いずれも費用はあまり変わらない。用地取得費が大きく響く

参考) 北海道の地上波デジタル放送整備費 455億円

市町村合併への国の補助金 400億円

高レベル放射性廃棄物「管理費」 3000億円(全体:190兆円)



送電線鉄塔撤去跡地(66kV)